

平成30年度 にぎわい交流館

事業説明会・団体交流会



日時：平成30年5月12日（土）10:00～12:30

場所：にぎわい交流館 2階 会議室ABC

プログラム

1) 開会あいさつ

配付資料説明、プログラム説明

2) 昨年度の実績報告・今年度の事業説明

*聞きながら、ワークシート（黄色）に書き込んでください。

3) グループワーク [10:45 ごろから]

全体での質疑応答

4) 中間支援団体の活動紹介 [11:10 ごろから]

場リスタ Next、BnBn（ぶんぶん）、日進市社会福祉協議会

休憩

5) 団体交流会 [11:30 ごろから]

進行：場リスタ Next

6) アンケート記入、終了 [12:10 ごろ]

*12:30 ごろまで自由に交流していただけます。

以上

1. 平成 29 年度にぎわい交流館運営実績について

(1) 会議室等運営実績について

平成 29 年度における会議室の利用人数は 31,904 人、利用件数は 2,276 件で、いずれも過去最高でした。利用率（1 件以上の利用があった日の割合）は 99.4%でした。

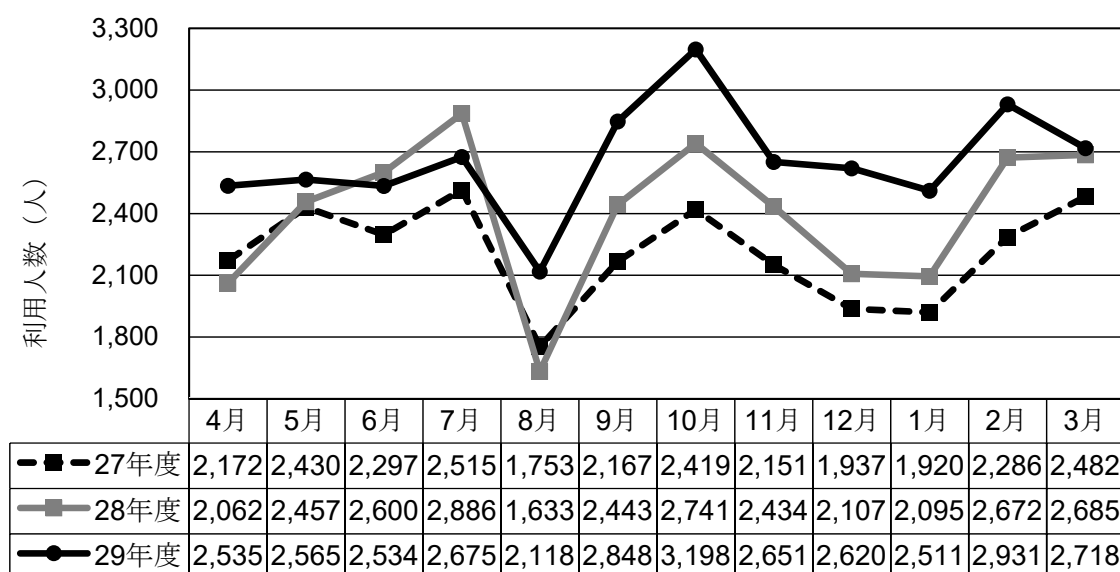
部屋別にみると会議室 D の夜間が減少しましたが、それ以外は増加となっています。また、例年利用が少なかった 8 月・12 月で大幅な増加がありました。夏休みなどのイベント・講座の会場として利用されたことによるものと考えられます。会議室を利用した登録団体は 157 団体、1 件あたりの利用人数は 14.0 人で、いずれも前年度並みでした。

印刷機の利用件数は 656 件で、前年度（686 件）に比べて 4.4 %減でした。

会議室利用状況の比較

		会議室 ABC		会議室 D		和室		合計		
		昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼夜計
利用人数	H28 年度	9,996	4,889	4,854	2,292	4,692	2,092	19,542	9,273	28,815
	H29 年度	11,044	5,237	5,499	2,287	5,184	2,653	21,727	10,177	31,904
	前年比	110.5%	107.1%	113.3%	99.8%	110.5%	126.8%	111.2%	109.7%	110.7%
利用件数	H28 年度	534	205	530	198	451	133	1,515	536	2,051
	H29 年度	646	243	554	210	457	166	1,657	619	2,276
	前年比	121.0%	118.5%	104.5%	106.1%	101.3%	124.8%	109.4%	115.5%	111.0%
利用率	H28 年度	90.5%	55.7%	88.5%	54.1%	79.6%	35.9%	97.8%	77.9%	99.2%
	H29 年度	95.2%	63.0%	91.9%	58.0%	85.4%	44.3%	98.6%	83.2%	99.4%
	前年比	+4.8%	+7.3%	+3.4%	+3.9%	+5.9%	+8.4%	+0.8%	+5.3%	+0.2%

会議室利用人数の推移



(2) 市民サロン運営実績について

ワンデイシェフによる**ランチ提供食数**は 12,888 食で、前年に比べて 1.9%増加しました。また 1 日当たりの平均は 44.4 食（前年比 0.2%減少）でした。

5 月から「タンドリーバスルーム」と「オールフォーユー」の 2 団体が加わりました。また 8 月 13 日～9 月 1 日に「木祖村ランチフェア」を開催し、話題づくりと食数増加に効果がありました。

マーケットは本年度中に 3 団体が加わり、8 団体が利用しています。

ランチコンサートの開催回数は 123 回（月～金曜 81 回、土曜 42 回）で、前年度に比べて 1.7%増加しました。出演者は 51 組でした。回数が落ち着き、多くの方に出演していただける状態が保たれています。

ギャラリーの開催回数は 27 回で、前年度に比べて 20.6%の減少でした。平成 25 年度をピークに減少傾向が続いていますが、約半分が登録団体の利用であるほか、新しい出展者もいました。

	ワンデイシェフ				ランチコンサート		ギャラリー	
	食数		1 日平均					
	29 年度	28 年度	29 年度	28 年度	29 年度	28 年度	29 年度	28 年度
4 月	1,182	1,096	47.3	43.8	10	13	1	2
5 月	1,134	919	45.4	43.8	9	11	3	2
6 月	1,245	1,192	46.1	45.8	11	14	2	4
7 月	1,008	1,099	42.0	44.0	8	13	2	3
8 月	1,069	884	44.5	40.2	9	11	2	1
9 月	1,150	1,052	46.0	43.8	10	9	3	4
10 月	1,189	1,115	47.6	42.9	13	9	2	4
11 月	1,035	1,041	43.1	43.4	12	11	3	3
12 月	834	794	43.9	44.1	9	8	2	1
1 月	884	983	42.1	44.7	11	6	2	2
2 月	1,037	1,188	43.2	49.5	10	8	2	4
3 月	1,121	1,289	41.5	47.7	11	8	3	4
合計	12,888	12,652			123	121	27	34

(3) 登録団体数について

日進市市民活動団体登録の数は平成 30 年 3 月末時点で 271 団体であり、前年度末に比べて 30 件減少しました。これは、3 年に一度の団体登録更新において、「活動を終了した」「にぎわい交流館を利用していない」などの理由で更新しなかった団体が多数あったためです。

新規登録団体の主たる活動分野は「健康・医療・福祉」（8 団体）、次いで「学術・文化・芸術・スポーツ」「子ども健全育成」（各 7 団体）が多くありました。

	新規登録	登録取消	差引増減	年度末団体数
平成 26 年度				240
平成 27 年度	35	14	+21	261
平成 28 年度	44	4	+40	301
平成 29 年度	35	65	-30	271

(4) 相談件数について

本年度に対応した相談件数は 301 件でした。前年同期（266 件）と比べて 13.2%増加しました。

相談者の内訳は前年と同じ傾向で、登録団体が 39.9%を占めています。

相談内容の内訳は「団体について知りたい」（連絡をとりたい、ウェブで見かけたので詳しく知りたいなど）が最多でした。次いで「施設利用・団体登録したい」が多いですが、活動状況を聞き取ったうえで、他施設の利用を勧めることもあります。

相談者			相談内容		
登録団体	120	39.9%	団体について知りたい	55	18.3%
市民	93	30.9%	施設利用・団体登録したい	52	17.3%
未登録の団体	33	11.0%	活動目的・事業内容について	41	13.6%
行政・学校	33	11.0%	講座や団体を探している	33	11.0%
その他	22	7.3%	その他	120	39.9%

(5)主な事業の実施報告

【受託事業】

	事業名	日程	参加者数等
1	にぎわい NEWS 発行 (Vol. 13~15)	平成 29 年 6 月 8 日 (木) 9 月 5 日 (火) 12 月 5 日 (火)	発行部数 3,500 部 掲載団体 のべ 18
	Vol. 13…きっかけはここに！ わいわいフェスティバル Vol. 14…日進絆子ども食堂 樽見千春さん Vol. 15…にしん地域猫の会&食育し隊「おむすび」 伊藤日奈子さん 市民活動・ボランティアに関心を持ってもらうため、市民向けの情報紙を発行した。特集としてインタビュー記事を中心に構成。ボランティア 2 名に関わってもらっている。当初計画通り 3 号発行した。		
2	会計講座 「はじめよう会計！」	平成 29 年 7 月 29 日 (土)	21 人 (17 団体)
	小規模な市民活動団体を主な対象とした、基礎的な会計処理のやり方を学ぶ講座。講師は NPO 法人ボランタリーネイバーズ 中尾さゆりさん (税理士)。 当初計画通りに開催し、参加者目標 20 人を達成した。		
3	木祖村ランチフェア・ 産直フェア	平成 29 年 8 月 13 日 (日) ~9 月 1 日 (金)	参加団体 9 団体 提供食数 524 食
	ワンデイシェフの利用促進を図るため、また友好自治体 木祖村との交流を促進するため、木祖村の夏野菜を使ったメニューを提供した (10 日間実施。食数は前年同期比 3 割増)。木祖村観光協会による産直フェア (8 月 24 日)、そば等加工品の受託販売 (8 月 24 日~9 月 1 日) も行った。 当初計画になく、市民協働課の発案により開催した。		
4	会計ワーキング会・ 相談会	平成 29 年 9 月 ~平成 30 年 1 月 (10 日間)	4 団体
	団体登録更新のための提出書類 (事業報告書・収支決算書) をはじめ、団体の会計作業について相談したり、団体同士が一緒に作業したりできる場。 会計講座のフォローアップを兼ね、団体の状況に合わせるため当初計画より日程を増やし、10 日間開催した。開催日に 4 団体の相談があり、期間外の会計相談も増えた。		
5	にぎわい交流館まつり	平成 29 年 11 月 19 日 (日)	出展団体 22 団体 来場者 延べ 2,200 人
	にしん市民まつりの一環で開催した。屋外のテントで 20 団体、館内で 2 団体が出展。ライブコンサートには 6 組が出演した。当初計画通り開催。		

	事業名	日程	参加者数等
6	ボラみっけ！ in 愛知学院大学	平成 29 年 12 月 5 日（火）	出展団体 12 団体 来場者 35 人 マッチング数延べ 26 人
	<p>ボランティアを募集している市民活動団体が、関心のある市民（学生）と出会えるボランティアマッチングイベント。情報発信やボランティアマネジメントの技術を向上させるオリエンテーションを事前に実施した。ボランティア募集情報の冊子も制作・配布した。市と愛知学院大学の連携事業として実施し、AGU ボランティアセンター、日進市社協からも協力を得た。</p> <p>当初計画で会員募集講座となっていたものを、ボランティア情報の収集と発信に力を入れるため、オリエンテーション+イベントの形式にした。</p>		
7	地域課題の調査・分析	通年	
	<p>4～8 月、あいちコミュニティ財団の事業ボランティアとして、障害者就労支援に関する調査・分析を行い、ノウハウや専門人材とのつながりを得た。下期には当初計画通り日進市内での調査テーマを団体や社会福祉協議会にヒアリングするなどして探したが、実施に至らなかった。</p>		
8	子どもの育ちと学びを地域で支えるための できること 探そうワークショップ	平成 30 年 1 月 21 日（日）	25 人 (うちメンバー9人)
	<p>子どもの居場所づくり・子ども食堂・学習支援の取り組みを後押しする「子どもの支援を考える会」において、日進市社会福祉協議会と共同でワークショップを開催した。当初計画中の団体交流会に当たるものとして実施した。</p>		
9	広報につしん記事	平成 30 年 2 月	
	<p>「『子育て世代』の市民活動で、素敵な子育てライフを！」 市民活動の啓発・参加促進のための記事を制作した。ボランティア 2 名に関わってもらっている。当初計画通り実施した。</p>		
10	日進市市民自治活動推進補助金成果報告会・説明会の参加者交流会	平成 30 年 2 月 3 日（土）	11 人
	<p>補助金を利用して事業を行った団体や、これから応募を考えている団体の交流会を行う。当初計画中の団体交流会に当たるものとして実施した。</p>		

【自主事業】

	事業名	日程	参加者数等
11	団体交流会「助成金に応募してどうだった？」	平成 29 年 5 月 7 日（日）	8 人（9 団体）
	<p>日進市の市民活動助成に提案・申請した団体を対象に開催。団体同士で助け合える関係をつくるとともに、各団体の事業をよりよいものにするを目的に、情報交換した。お互いの事業を知り、いろいろなアドバイスが出された。</p> <p>当初計画になかったが、登録団体からの提案により協働して実施した。</p>		
12	事業報告会・説明会	平成 29 年 5 月 9 日（火）	19 人（17 団体）
	カブヌシ総会！	5 月 10 日（水）	18 人（16 団体）
<p>登録団体を対象に、にぎわい交流館の事業について知らせるとともに、参加者と意見交換した。昼夜の 2 回開催としたことで、参加者が増えた。人手などが足りずすぐにはできない事業を掲載したところ、登録団体から一緒にやりたいとオファーが来たものもあり、団体との協働につながった。</p> <p>当初計画通り実施した。</p>			
13	事務支援	平成 29 年 9 月～	
	<p>市民活動団体の小さな困りごとを解決するためにできることを有料メニューとして設定し、支援をより充実させる。データ印刷と消耗品販売（コピー用紙等）から始め、3 月に全体のメニューを作成・公開した。</p>		
14	日進まちづくりゼミ (第 1 回～第 3 回)	平成 29 年 10 月 5 日（木）	15 人（スピーカー含む）
		平成 29 年 12 月 8 日（金）	12 人（同上）
		平成 30 年 3 月 8 日（木）	21 人（同上）
	<p>第 1 回 「にっしんの市民活動をどうみるか」 椋山女学園大学人間関係学部 教授 谷口功さん</p> <p>第 2 回 「新しい地域コミュニティをつくるために」 NPO 法人ファミリーステーション Rin 代表理事 小川悦子さん</p> <p>第 3 回 「日進市総合計画から考える協働のまちづくり」 日進市企画政策課職員</p> <p>市民活動をしている人や行政職員など、地域課題の解決に関わる人たちが、まちづくりについて共に行動していくための、出会いと学びと対話の場。団体や椋山女学園大学谷口教授の協力を得て、継続的に開催を始めた。</p> <p>当初計画中の市民活動・協働推進勉強会に当たるものとして実施した。</p>		

	事業名	日程	参加者数等
15	日進わかもの塾	平成 29 年 12 月 17 日（日） ～平成 30 年 1 月 14 日（日）	3 人
	<p>高校生を対象に、NPO 訪問を通じて、自らがやりたい地域課題を解決するプロジェクトを考える 5 日間のプログラム。訪問先は 4 団体からの選択で、NPO 法人リビングサポート あいあいの家、公益財団法人アジア保健研修所の 2 団体となった。話し合いを手助けするサポーターとして、大学生 4 名の協力を得た。最終日の発表会には地域の大人 20 人が参加した。</p> <p>当初計画から除いていたが、年度中に採用したスタッフの提案もあり、次年度以降のためのプロトタイピングとして実施した。</p>		
16	おしゃべりワークショップ わいわい広場（第 6 回）	平成 30 年 2 月 4 日（水）	20 人
	<p>テーマ「あなたの『せけんてい』は何？」 ワールドカフェ形式で「対話」を実践するワークショップ。ファシリテーターとして 8 名がボランティア参加。当初計画通り実施した。多世代の参加があり、どのように多様な価値観を認め合い生きていけるかを、それぞれの経験を交えて対話した。</p>		
17	にぎわい夢まつり	平成 29 年 9 月 17 日（日） ※台風接近のため中止	（出展団体 11 団体）
18	日曜・祝日の喫茶提供	通年	62 日間 （平日の夕方を含む）
19	Facebook ページ運用	通年	ページに対するいいね！ 426 件（3 月末） （29 年 3 月末 325 件）

【わいわいフェスティバル】

ブース出展のほか、出展団体募集や出展内容調査の受付、当日配布パンフレットのデザイン・印刷、設営・撤収の補助、当日の運営（総合案内）、ウェブ広報等を行った。

【中学生の職場体験】

日進西中学校（8 月 2 日・3 日）および日進北中学校（8 月 23 日・24 日）から、各 2 人を受け入れた。

1. 平成 30 年度にぎわい交流館運営計画について

(1) 概要

事業計画の策定にあたり、日進の市民活動についての将来像（ビジョン）や、その実現に必要なとなる 3 つの長期成果を設定して指針としました（平成 29 年度から継続）。

また、事業実施にあたっては、より団体のノウハウを生かしたりニーズに応えたりするため、できる限り団体が企画運営に参画できるよう工夫します。これにより、団体とにぎわい交流館がともに成長していく関係をつくっていきます。

なお、指定管理受託時の提案内容は、平成 26～29 年度の 4 年間におおむね実現できていますが、地縁型組織への支援体制（講座実施、相談対応やコーディネートができる関係づくり）が不十分であると認識しています。平成 30 年度の運営にあたってはその点にも留意した計画とします。

長期成果				ビジョン
(A) 地域課題と解決策の可視化、対話による共有がなされ、NPO が担う公共サービスの領域が増えている 【目標値】行政と NPO の協働事業件数※1				市民・行政・NPO が効果的に連携しながら、地域課題の解決に取り組んでいる
H25 実績	H28 実績	H30 目標	H32 目標	
78	75	90	98	
(B) NPO が社会や自組織の変化に対応して成果を出し続けている 【目標値】にぎわい交流館登録団体数				
H25 実績	H30. 3 実績※2	H30 目標	H32 目標	
252	271	320	350	
(C) 市民が地域の当事者として、市民活動の受け手や担い手となるための機会が充実している 【目標値】ボランティア・NPO 活動経験のある市民の割合※3				
H26 実績	H28 実績	H30 目標	H32 目標	
13.9 %	14.4 %	16 %	20 %	

※1 H32 年度の目標は第 5 次日進市総合計画より

※2 施設を利用しなくなった、活動を終えたなどの理由で、登録を更新しなかった団体が多かったことによる

※3 市民意識調査（2 年ごと実施）の結果。H32 年度の目標は第 5 次日進市総合計画より

(2) 基本業務

業務内容	備考	受託・自主 の区分
会議室等の貸出・施設管理		受託事業
ワンデイシェフ	夏にランチフェア実施	〃
マーケット		〃
小さなギャラリー ランチコンサート		〃
相談事業		〃
ウェブサイト メールマガジン		〃
チラシ配架・掲示板 イベントカレンダー		〃
キャラクターを利用した PR		自主事業
Facebook ページ運用		〃
利用者アンケート		受託事業
団体登録		〃
図書・資料の収集・配架		〃
事業説明会	5月12日実施。H28年度から継続	自主事業
にぎわい夢まつり	9月16日実施	〃
にぎわい交流館まつり	11月18日実施	受託事業
休日の喫茶提供		自主事業

その他の事業……くるりんばす定期券販売、わいわいフェスティバル運営補助
 会議への参画……子どもの支援を考える会、にっしん観光まちづくり協会

(3) 重点事業

【長期成果 A に対応するもの】

「地域課題と解決策の可視化、対話による共有がなされ、NPO が担う公共サービスの領域が増えている」

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
1	団体交流会	1 回程度	受託事業	継続
	活動発表、課題意識やノウハウの共有、新たな連携を生むための場。テーマを決めて団体交流会を行う。			
2	出会おう！協働！講座	2 回程度	受託事業	新規
	市の職員を講師に、日進市の地域課題や取り組みについて知って考えるとともに、市職員と団体が顔を合わせる場を設ける。テーマ型団体・地縁型団体ともに参加しやすい内容を検討する。			
3	日進まちづくりゼミ (市民活動・協働推進勉強会)	4 回程度	自主事業	継続
	地域課題の解決に関わる人たちが、まちづくりについて共に行動していくための、出会いと学びと対話の場。話題提供者は参加者からの提案をもとに決める。			

【長期成果 B に対応するもの】

「NPO が社会や自組織の変化に対応して成果を出し続けている」

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
4	団体向け講座（広報）	1 回（下期）	受託事業	見直し
	団体の広報スキルを向上するための講座・ワークショップを行う。 ※団体向け講座は、年ごとにテーマを変えて行う。			
5	専門家による相談事業	通年	受託事業	新規
	会計・ファンドレイジング・ミッション策定など専門的な相談に対応する。オンデマンド相談（にぎわいスタッフが論点整理したうえで日程調整）を実施。			
6	事務支援事業	通年	自主事業	継続
	事務に関する支援サービス（データ印刷、消耗品販売、事務代行など）を行う。			

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
7	プロアクションカフェ	3 回程度 (第 1 回 5 月 19 日)	自主事業	新規
	活動を前進させたい人とそれをサポートしたい人が、相互に影響しあって、次の行動を見つける対話型のワークショップ。			

【長期成果 C に対応するもの】

「市民が地域の当事者として、市民活動の受け手や担い手となるための機会が充実している」

	事業名	実施回数等	受託・自主 の区分	新規・継続 ・見直し
8	にぎわい NEWS	年 2 回 (5 月・11 月)	受託事業	継続
	広報にっしん記事制作	年 2 回 (8 月・2 月)		
市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの情報紙や記事を制作する。				
9	市民自治活動奨励事業 認定制度の充実	通年	受託事業	継続
	例として認定事業のチラシを他の公共施設などに配送し、配架してもらおうシステムを作るなど、制度の充実に引き続き取り組む。			
10	おしゃべりワークショップ わいわい広場	1 回 (下期)	自主事業	継続
	生活で気になることやまちの課題や魅力について「対話」することで、互いの価値観・考えやまちの課題を知り、できること・やりたいことに気づく場。ファシリテーターとして、市民活動している人などが参画する。			
11	日進わかもの塾	7 月 29 日～8 月 26 日 (説明会 6 月 16 日)	自主事業	継続
	高校生が地域の身近な課題について考え、解決のためのプロジェクトを提案するプログラム。期間中に日進市内の NPO を訪問する。サポーターとして大学生の参加を募る。			

登録団体アンケートから

「にぎわい交流館の運営についてお気づきの点や、もっと取り組んでほしいことなど」

〔回答数〕 71 件 〔有意回答数〕 29 件

主な意見	意見に対する考え方
会議室 ABC、アコーディオンカーテンだけでは隣の団体の会話が気になる。譲り合うのはもちろんだが、もう少ししっかりしたパーティションを設置するなど考えてほしい。	費用面からすぐに改善することはできませんが、長期的な視点で検討します。
エレベーターを設置してほしい。2 階へ上がるのがつらい。	費用面からすぐに改善することはできませんが、長期的な視点で検討します。
トイレを増やす、冷暖房を付けるなど充実してほしい。	費用面からすぐに改善することはできませんが、長期的な視点で検討します。
暗幕が欲しい。	今後の備品導入の候補として検討します。
「今日の利用団体」の掲示で、団体名だけでなく利用内容も記載してほしい。	平成 30 年 1 月から、利用内容を記載するように変更しました。
部屋が少なく、なかなか希望の日に会議室を予約できない。	先着順で予約を受け付けているため、不便な場合もあると思います。早めに予定を立てていただくと、予約を取りやすくなると思います。
団体の活動の様子を展示するコーナーが入口付近にあったらよい。	入口付近のギャラリーは、芸術作品の展示だけでなく団体の活動発表・啓発の場としても利用できます。
デジタルサイネージを設置して団体のイベントを紹介してほしい。	団体のイベントチラシを掲示板や壁面に掲示しており、現時点では十分だと考えています。
団体のイベントを一覧できるチラシが入口付近にあったらよい。	市民活動イベントカレンダーを平成 28 年度から毎月発行し、カウンターに設置しています。置き場所については検討の余地があります。
受け付けが堅苦しい、暗い。	明るく丁寧な接客をするよう、いっそう努めます。
同じような目的・内容の団体同士の交流会、情報交換会などを開催していただけるとよい。	開催によってどのようなよい変化を起こせるか、具体的に考えながら企画していきます。
会議室予約がウェブでできるとよい。	現在のシステムでは対応できないので、電話での仮予約をお願いしています。
カラー印刷ができるとよい。	平成 29 年 8 月から、事務支援事業としてデータ印刷（カラー可）を有料で受け付けています。

主な意見	意見に対する考え方
遠くまで行かなくても NPO に関わる勉強会があるとよい。	団体からの提案・連携で開催できる可能性がありますので、具体的にご相談ください。
ブログ・Facebook の講座があるとよい。	平成 30 年度に広報に関する講座を計画しているので、その内容として検討します。
若者・大学生が NPO に関心を持ってもらえるような企画があるとよい。	今年度に日進わかもの塾を初めて開催し、高校生や大学生（サポーターとして）が NPO と関わる機会を設けました。平成 30 年度も継続実施するとともに、高校・大学などとの連携も深めていきたいと考えます。
必要な時に手助けしてくれる人材バンクを作ってほしい。	すぐに実施することはできませんが、長期的な視点で検討します。日進市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、このような構想があると聞いています。
ボランティアや会員とのマッチングの機会をつくってほしい。	平成 29 年度にはボラみっけ！を開催しました。効果的な手法を研究し、次回開催につなげたいと考えます。